

# メキシコ - ペソ下支えのため利上げと直接為替介入をサプライズ実施 -

## <サプライズで一連のペソ下支え策を発表>

メキシコ中央銀行は2月17日（現地時間）、政策金利を0.50%引上げ3.75%にすることを発表しました。緊急会合で政策変更したのは今回が初めてでした。

2月4日に開催された定例会合では政策金利の据え置きを決定していましたが、その後のメキシコペソ（以下ペソ）安によりインフレ目標を上回る可能性が高まったため、利上げを決定しました。

また、ペソを下支えするために米ドルを売る直接市場介入も行い、これまでの機械的な為替介入プログラムを廃止し、市場動向に応じて為替介入を実施する裁量的な方法へ変更しました。

今回の利上げについて中央銀行は「新たな利上げサイクルの始まりではない」とし、最安値圏にあるペソを下支えするために実施した姿勢を強調しています。

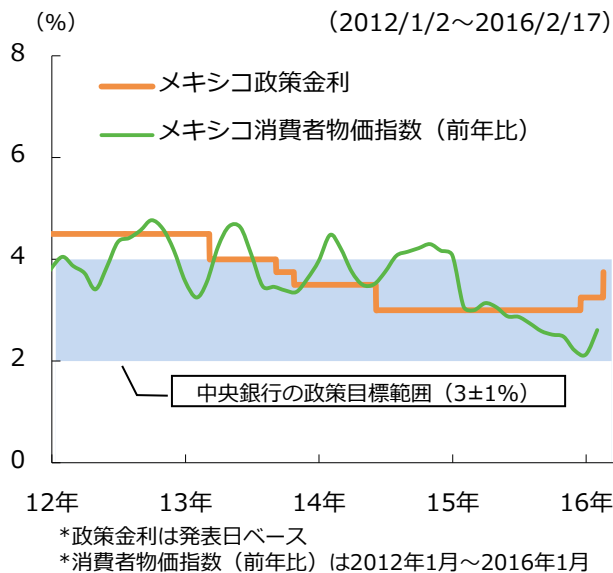
## <今後の見通し>

利上げが決定された同日、メキシコ財務相は原油安に伴う歳入減に対応して、昨年11月に可決された予算から約1,323億ペソを削減すると発表しました。これによりメキシコ経済やメキシコ債券に対する投資家からの信頼感が高まると見込まれます。

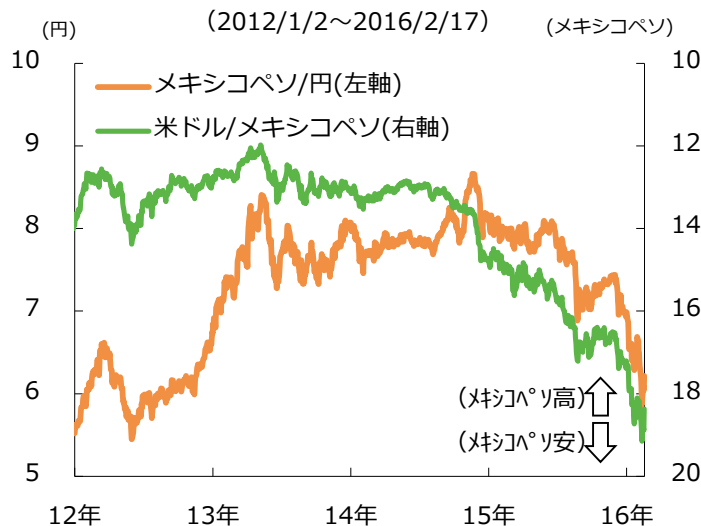
原油安の影響を受けてエネルギー関連産業の低迷が予想されるものの、個人消費の増加が続くとみられるほか自動車産業など米国との結びつきが強い産業が牽引役になると期待されることから、今後もメキシコ経済は底堅く推移すると予想されます。

メキシコの構造改革への期待感や信用力が高いことなどを背景に、中長期的にメキシコペソは新興国・資源国通貨の中で優位性を保つと予想します。

## <インフレ指標と政策金利の推移>



## <メキシコペソ為替の推移>



出所：Bloomberg

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会